

おおだて 

令和4年2月1日 143号

市議会だより



SOMPOボールゲームフェスタにて
会場：タクミアリーナ
(令和3年12月5日撮影)

令和3年12月定例会 議案等の審議結果…	▶ 2
一般質問…	▶ 5
常任委員会から…	▶ 12
私もひ・と・こ・と…	▶ 14



12月定例会の主な議案等の審議結果



令和3年12月定例会は、11月22日から12月9日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告2件、専決処分の承認1件、条例案6件、単行案5件、予算案5件の合計19件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

認 第 8 号 令和3年度大館市一般会計補正予算（第8号）

承認

条 例 案

- | | |
|---------|--|
| 議案第100号 | 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 |
| 議案第101号 | 大館市国民健康保険条例 |
| 議案第111号 | 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例 |
| 議案第112号 | 市長等の給与及び旅費に関する条例 |
| 議案第113号 | 大館市職員の給与に関する条例及び大館市一般職の任期付職員の採用等に関する条例 |
| 議案第114号 | 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例 |
- 上記について、それぞれ一部を改正する条例案

原案
可決

単行案

原案
可決

- 議案第103号 大館市田代老人福祉センターの指定管理者の指定について
- 議案第104号 大館市エコプラザの指定管理者の指定について
- 議案第105号 大館市小畑勇二郎記念館の指定管理者の指定について
- 議案第106号 市道路線の認定について（代野道北西4号線）

など

補正予算案

原案
可決

- 議案第107号 令和3年度大館市一般会計補正予算（第9号）案

〈主な内容〉

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・ 障害者自立支援給付費 追加 | 2億7,257万円 |
| ・ 新型コロナウイルス対策生活応援事業費 追加 | 2,824万円 |
| ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 追加 | 1億4,523万円 |
| ・ 道路維持費 追加 | 952万円 |
| ・ 高速バスキャッシュレス化推進事業費補助金 | 465万円 |
| ・ 住宅リフォーム支援事業費補助金 追加 | 1,095万円 |

など

以上を含め、歳入歳出予算額 5億6,848万9,000円

補正予算案

原案
可決

- 議案第108号 令和3年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第109号 令和3年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第110号 令和3年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案

など

12 月定例会に提出された請願・陳情

継続
審査

陳情第44号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情
陳情第45号	精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情
陳情第46号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情
陳情第47号	人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改正について
陳情第48号	介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
陳情第49号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書

継続審査となっていた請願・陳情

継続
審査

請願第3号	秋田犬会館の改修工事への助成について
請願第4号	地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について
請願第8号	扇田病院の無床診療所化に反対する請願書
陳情第6号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
陳情第8号	「沖縄県民は先住民民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
陳情第9号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
陳情第10号	臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
陳情第25号	公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について
陳情第30号	日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第38号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出要請について
陳情第40号	日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第41号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の提出要請について
陳情第43号	沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書

— 大館市議会から意見書を提出しました —

- 西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引上げを求める意見書
- 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を求める意見書

任期最終年度の 予算編成の方針は

田村 儀光 たむら のりみつ
議員（活性大館）



携の考えは。

〔問〕 コロナの感染爆発で大きく変わった日常生活。発生から2年近く感染症対策に追われ、目指すまじぶくりにならず影響があったと思うが、市長就任2期目最終年度である令和4年度予算編成の考えは。市民に分かりやすく。

〔市長〕 令和4年度においては「感染症の克服と地域経済の好循環への対策」を第一として「先導的共生社会ホストタウン関連事業の推進等」「施策・事業の検証とスクラップ・アンド・ビルドの徹底による財源の確保」の三つの基本方針を掲げ、対応を指示した。国の動向を注視しながら、地域経済の好循環や市民が暮らしやすくなる施策を最優先とし、将来にわたり持続可能な「内に優しく、外に強いまちづくり」に重点を置いた予算を編成していく。

〔問〕 スノーピークと持続的な連

〔市長〕 市では現在、田代地域五色湖エリアをアウトドアの拠点として整備すべく、(株)スノーピーク地方創生コンサルティングと連携し、事業を実施しているところである。同社が持つ「アウトドアを通じ地方の暮らしを豊かにする」という考え方には大いに共感できることから、どのような連携ができるのか積極的に検討していく。

〔問〕 安心して喫煙できる喫煙所の設置の考えは。

〔市長〕 現在、桂城公園内の一部に仮の簡易喫煙所を設置する方向で準備を進めている。

〔問〕 「地方が元気になるなければ日本はダメになる」。地方創生の大臣まで置いているが7年、コロナ禍ではつきりした永田町一極集中、国、県、市町村の縦割り行政。地方分権改革の推進に声をあげるべきと思うが。

〔市長〕 地方創生、地方分権の推進については、全国市長会を通じて国に要望し、11月18日には「新たな地方創生の実現・地方分権改革の推進に関する決議」が決定され、国会議員及び関係省庁等に対して要請が行われた。

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

脱印鑑（押印省略）について

佐々木 公司 ささき こうじ
議員（令和会）



〔問〕 行政手続の簡素化と市民の利便性を考えて、市の現状と今後の対応はどうか。

〔市長〕 現在、押印・署名を求めている手続きについて、来年度からの原則廃止に向け、3月定例会に条例改正議案を提出できるよう作業を進めている。

ラニーニャ現象への対応について

〔問〕 気象庁によると、今冬はラニーニャ現象が予報されているが、市としての備えはどうか。

〔市長〕 大雪特別警報、雪下ろし注意情報発表時は、迅速で正確な情報を市民に向けて発信し、注意喚起とともに連携した防災対応に努める。

高齢者の免許返納に伴う交通手段の確保について

〔問〕 高齢者の交通事故が多発し

ているが、免許返納することで日常生活の足の確保に苦慮する人たちの交通手段の確保について。

〔市長〕 「地域公共交通網形成計画」で、地域のニーズに合った交通手段の導入の可能性について検討中。

野生鳥獣対策について

〔問〕 ブナの実の大凶作による熊への対応、カラスの冬ねぐら形成対策やイノシシ等の対策は。

〔市長〕 熊の食べ物を放置しないことや、山林付近へ行くときには音が出るものを携帯することなどを周知していく。カラスの被害対策は、電子防鳥機の貸出しを実施。イノシシ対策には、くくりわな講習会の開催や捕獲用のおりを購入するなど、注力して対策に取り組んでいる。

原油値上がり対策について

〔問〕 ガソリンに加え、灯油や軽油の値上がりにより、特に暖房用灯油は一般市民の家計に大打撃。市として助成の考えは。

〔市長〕 現在の灯油価格の高騰は、市民生活へ影響大と考え、特に影響が大きい世帯を対象に、灯油購入費助成事業の実施を検討中。

扇田病院無床化について

阿部 文男 議員（令和会）



〔問〕 9月18日の厚生常任委員会の審議前に「扇田病院の無床化を推進する令和会の議員を示す」として令和会13名の議員が、扇田病院の無床化についてあたかも推進しているかのような怪文書がSNSで発信されたが、命を守る医療、地域の医療を守りたいの思いは党派、会派に関係なく同じである。扇田病院は市の財政の大きな負担であることは事実だが、なくてはならない病院であることも認識している。このような敵対しているかのような誤った情報に踊らされることなく、十分な議論を尽くしてお互いに納得のいく結論を導き出せるように進めてほしい。

〔市長〕 医療と介護施設との情報共有と連携強化に努め、市民の皆様には不安のないよう、今後の方向性、医療機能についてさらに検討したい。

大滝地区に温泉を活用した医療と福祉のまちづくりについて

〔問〕 大館工業団地で操業しているニプロが東洋紡と共同で生産拠点を新設するとの発表があった。市の安定した雇用創出のため、協力して推し進めてほしい。大滝温泉地区の温泉を利用した「医療と福祉のまち」構想も前向きに取り組み、さらなる雇用の場を創出してほしい。

〔市長〕 大滝温泉郷は豊かな温泉資源と充実した福祉施設を兼ね備えた理想的な環境にある。周辺施設との連携を図り、働く場の確保や移住・定住の促進につなげたい。

コロナ下での農家支援策について

〔問〕 コロナの影響で全国的に米価が大暴落し、秋田県でも1俵当たり2千円以上も下落。加えて原油高で肥料や資材が高騰し、厳しい状況を守り抜かれている。農業は国民の命を守る基幹産業であるので、農家支援策を早急に考えてほしい。

〔市長〕 米価下落などの様々な事態に対応可能な強靱な経営体制づくりのため、国の経営所得安定対策交付金等の活用やスマート農業機械の導入支援制度を検討している。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

3D広域連携の重要性

田中 耕太郎 議員（令和会）



〔問〕 函館・大館・角館の3D連携による立体的観光は、道南から北東北3県の縦軸になり、少しずつ機能し始めている。頭文字がKである北秋田・鹿角・小坂・上小阿仁の4Kもしっかりと横軸に組み入れるよう努力してほしい。3Dの縦軸がしっかりしてきても、地元地域の土台である横軸4Kがしっかりしていなければ、政策は絵に描いた餅になる。市長が先頭に立って取り組むべき。

〔市長〕 積極的な広域連携の取組を進める一方、市内の事業者の皆さんがサービスを磨き上げ、それによる収益をしっかりと実感できる仕組みづくりが何よりも重要だ。今後は観光だけでなく、産業や教育、交通など、幅広い関係者との連携が必要。人口減少社会の中での観光振興、地域振興を図るためにこそ、地域の総力を挙げて取組を進める必要がある。

地方創生と産業振興の加速の必要性について

〔問〕 国が求める「防災拠点化」や「地域センター化」などのいわゆる「道の駅」機能のほかに、多様な地域、団体や企業、人材が関わり、多彩な地域資源や先端技術を組み合わせていくことで交流人口や関係人口の拡大などの受け皿となり、本市にとっても幅広く地域振興につながり、様々な効果が期待できる。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、地方創生・観光を加速する拠点としての、道の駅第3ステージに向けた取組について伺う。

〔市長〕 地方創生をより強固なものにしていくには、道の駅を「市民の皆様が暮らしやすく、かつ、豊かになる」拠点とする必要がある。医療、福祉、子育てなどに特化した、これから市民の生活に必要となる機能の拠点とすることや、観光振興、防災の拠点とするための、他の道の駅や民間企業などの様々な主体との連携、さらに、これらを前に進めるための交通や情報のネットワークの構築が重要である。

大館市プレミアム付商品券販売について ガソリン・灯油価格高騰への対応策他

柳館 晃 議員（令和会）
やなぎだて こう



〔市長〕 灯油は、冬期間に欠かすことのできないものであるため、関連予算案を追加提出する予定となっている。全非課税世帯約8500世帯への支給を見込んでいます。事業者に関しては、運転資金の借入れを支援する「マル大融資制度」などの利用を呼びかけています。

〔問〕 市は今年度二度目となる、プレミアム付商品券を販売したが、発行数5万259セットに対し、6万6153セットの申し込みがあり、抽選の結果、約2000人の抽選漏れが生じてしまった。市民の購買意欲、地域経済を活性化するため、この事業の再実施を望む。また、その際は、購入希望者全てに行き渡るような施策を講じてもらいたい。

〔市長〕 抽選となったことには、市民の消費意欲の高まりを実感した。今後、国の経済対策の動向を注視し、商工団体と協議連携しながら、これまでの結果や事業者の声を反映させた施策を適切な時期に実施したい。

〔問〕 本格的な冬を前に、ガソリン・灯油の価格高騰が一般家庭や農業・運輸業等の経営を直撃している。国や県に先駆け、助成金等支援策を検討してもらいたい。

〔問〕 秋田三鶏、ニホンザリガニ等、天然記念物の保護と今後の取組について、特に秋田三鶏記念館は、保存会への支援とともに観光資源としての施策を講じてもらいたい。

〔市長〕 ニホンザリガニをはじめ、秋田三鶏も本市の持つ貴重な天然記念物であり、保存及び周知に努める。保存会と協力しながら積極的に情報発信し、守り継いでいく。

〔問〕 矢立地区の整備について、隣接する釈迦内はじめ、地元の皆様を整備した男神山麓のミズバシヨウウ群生地等、数々の観光につながる施策等の適切な管理、整備をしていただきたい。

〔市長〕 矢立地区の貴重な自然環境・歴史について、地域の皆様と一体となり観光資源としての磨き上げに努める。

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

米価下落などに対する支援策は

石垣 博隆 議員（令和会）
いしがき ひろたか



農地整備事業に対する質問

〔問〕 この整備事業をより多くの地域で進めていけるように、国・県等への要件緩和の働きかけと、耕作者・地権者・土地改良区・県・市行政の連携によるよりよい農村づくりに対する考え方、今後の方針を伺う。

〔市長〕 本市では農地集積を進める中で、最も課題となる未相続農地解消への助言や営農シミュレーション作成への協力、担い手の負担軽減に努めている。非常にニーズの高い事業と認識しており、後も整備事業の周知や働きかけを行っていく。

新規就農者の研修制度の充実について

〔問〕 新規就農者や就職という形で農業を学び独立を願う人、兼業農家として農村の担い手になる人、そういった人材を育成できる研修制度、仕組みが必要と考えるがどうか。

〔市長〕 今後、農業体験プログラムや独自の研修受入れ体制の構築について、各関係機関や農業経営体とともに、その仕組みの構築を目指す。国の新規就農者を対象にした事業が刷新される情報もあり、取組を推進する。

あくまで扇田病院を「無床診療所」にするというのであれば、この間の答弁を180度変えたことになる。まずは市民に陳謝すべきではないか

笹島 愛子 議員（日本共産党）



問も行い、担当課の方との町内懇談会も実施したが実現に至っていない。まずは、実証的に行うなど斤内一丸となって手がけるべきで、その後、本市に合った運行を実施するべきではないか。

〔市長〕 公共バス事業については、5年先・10年先を想定した公的支援策を講じながら、事業全体の抜本的な見直しが必要と考える。併せて、地域の実情や住民のニーズを捉えた、多様な運行形態による交通手段の検討が急務だ。

〔問〕 扇田病院の最大の問題点は、「守る」から「なくす」に変えたことだ。2年前は、「守る」と答弁されているわけなので、それを「なくすことにした」と言うのなら、まずは市民に対し、いったん陳謝し、あらためて「無床」にする理由を述べるべきではないか。

〔市長〕 扇田病院の方向性の案については、医療と介護現場の皆様から御意見を伺うとともに、今後開催される予定の県主催の地域医療構想調整会議で御審議いただくなど、幅広く意見を伺いながら課題解決が図られるよう取り組んでいく。

市内のバス未運行地域対策

〔問〕 私はこの間、市内の未運行地域への交通手段について何度か質

河川の状況について

〔問〕 今年度、下内川の一部では大雨対策工事を行ったが、実際されていない河川については、国・県に予算要求を行い、災害を未然に防ぐ対策をとるべきではないか。

〔市長〕 市で管理する河川でも、令和2年度から5カ年計画で河川内の土砂掘削工事を進めている。今後も、国・県と連携しながら災害に強い地域づくりを推進していく。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

病院改革プランの評価と今後の取組

斉藤 則幸 議員（公明党）



る大変有効な計画である。現在、市では、防災マネージャーの資格を持つ「防災アドバイザー」を危機管理課に配属しているほか、災害に関する気象情報については秋田地方气象台とホットラインを構築し、対応している。

市立総合病院の改革プランは

〔問〕 市立総合病院の経営改革プランの評価と今後の取組は。

〔市長〕 コロナ禍で受診控えがある中、市ではがん検診の受診率向上への取組として、無料クーポン券の配布、はがきによる受診勧奨などを実施している。今後はインターネット予約を導入して、パソコンやスマートフォンなどから、24時間いつでも気軽に予約できるよう改善するなど、若い世代が受診しやすい環境づくりに努める。

気象防災アドバイザーの活用

〔問〕 防災タイムラインと気象防災アドバイザーの活用についての考えは。

〔市長〕 防災タイムラインは、被害の拡大回避や、防災関係機関との連携強化による減災効果が期待でき

田んぼダムについて

〔問〕 スマート田んぼダムを市でも検証してどうか。

〔市長〕 農業者に実証実験の結果を紹介し理解を深めてもらう。自動給排水栓の導入支援制度も検討する。

JR大館駅に11億5千万円もの市費を出したうえ駅舎とエレベーターの維持管理費まで出し続けるより、市民のために扇田病院を11億3千万円で早急に改修すべきでないか

有浦保育園から128ベクレル、小中学校等から27、165ベクレルの放射性セシウムが検出されたベレット暖房の安全対策について

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕 扇田病院は市民に必要な病院です。紹介状が無くても診てもらえますし、日中病院に行けない人のために夕焼け診療も行っています。通院困難な人や寝たきりの人のために訪問診療や往診も行っています。

大館駅の建築面積は当初の約半分の1260㎡になり、市のスペースは当初の1/4の374㎡に減ったのに、事業費は9億5千万円から19億8千万円と倍に増えたのです。市は若い世代の負担としてはいけないと扇田病院の改修を止めましたが、駅のほうが負担になるものです。なぜなら駅も病院も11億円超と同じ額ですが、市は駅舎とエレベーターの維持管理費を払い続けなければなら

ないからです。

〔市長〕 駅周辺整備事業は駅前エリアの賑わいと活気を創出するため

に欠かせないものと認識しています。

扇田病院は施設の老朽化、経営状況、人口減少などを考慮すると現状のままでは地域医療を提供し続けることは難しい状況です。現在一次医療を担っている扇田病院、二次医療を担っている総合病院の機能の分化と連携をさらに深め、介護施設との更なる連携の強化を図ることこそ地域医療の存続に必要不可欠です。

〔問〕 福島原発事故で放出された放射性物質は東北地方の広い範囲に運ばれ、半減期が長い放射性セシウムは今も放射線を出し続けています。山陰や四国や九州の原発所在地の市町村では、成草中の165ベクレルや有浦保育園の128ベクレルの焼却灰は放射性物質として扱われているのです。

〔教育長〕 そもそも100ベクレル程度の放射能物質が発する放射線の強さってのは人体に害を与えるレベルではない。

128であろうと165ベクレルであろうとその放射性物質が発する放射線など、それほどまで微弱なものであるということなんです。そのことを確認したのが、私の行った2月3日の検査ということなんです。まあそういう意味で昨年度の調査は1回でも十分であったということにその目的を達したというふうに考えております。

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

転作作物小麦の作付推進を

田村 秀雄 議員（市民の風）



〔問〕 米価下落による影響と農家支援対策やスマート農業をどのように考え進めていくのか。

〔市長〕 強固な経営体制づくりへ農業関係者と考え方を共有しながら、米依存から脱却し、稼げる農業を早期に確立を目指したい。今年度、既存機器に取付け可能なGPS自動運転装置の実演会を実施し、来年度は水管理システムをはじめ各種スマート機器の導入支援を検討する。新規就農や異業種参入による新たな視点を生産現場に取り入れ、農業の活性化につなげたい。

〔問〕 農家の収入減少に伴い、転作作物に新たに小麦の輪作作付推進の必要があると思うが。

〔市長〕 小麦の実証実験は、市のアグリイノベーションの一環として大豆、ソバに次ぐ第3の土地利用型作物としての普及を目指すもので、新たな品種が次々と登録され、市の天候に適した品種を探すため開始した。今後は、成果を農業者に情報提供し、作付面積の拡大を目指すほか、ブランド化による販売戦略を行うため、市内事業者に収穫した小麦を提供し、新たな商品開発に取り組むなど、積極的に作付の推進に取り組む。



扇田病院の無床化を白紙に戻し、 逆に医療の街をPRし移住者促進を

相馬 そうま エミ子 えみこ 議員（市民の風）



るチャンスだ。移住促進を考えると扇田病院の無床化はイメージダウンになってしまふ。もっと広い視野で扇田病院の方向性を考えるべきだ。市長の考えを伺う。

〔市長〕 署名については、安心して暮らせるための医療を提供できる場を残してほしいとの切実な願いと考えている。「大館市在宅医療・介護連携推進協議会実務者会議」で扇田病院の方向性について説明させていただいた。医療と介護の分野が連携し課題を示唆し、総合病院と扇田病院の役割と機能連携を図り、次の世代に確実に引き継ぐため医療と介護連携体制づくりに取り組んでまいりたい。

免許返納等による高齢者の移動手段としての買物タクシーや、商店空白地域への出前商店街について

〔問〕 秋田市で割安な料金で利用できる買物タクシーの実証実験を始めた。路線バスが走ってない地域とスーパーをタクシーで結び高齢者の移動を支援するもの。一方にかほ市では買物弱者救済として出前商店街を始め、地域住民の交流の場になっている。ぜひ前向きな取組を。

〔市長〕 安心して暮らせる仕組みの実現に向け取り組んでまいりたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

2万人の病床存続を願う声にきちんと向き合い、市民が安心と思える医療構築へ最大限の努力を求める

吉原 よしわら 正 ただし 議員（市民の風）



〔問〕 扇田病院の無床化方針について、じっくり議論して合意形成を図るとの考えに変わりはないか。

〔市長〕 現在も変わりはない。医療と介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けていくための地域包括ケアシステムの在り方を幅広く議論していきたい。

〔問〕 説明会での意見や提言を病院事業戦略会議ではどのように議論や検討がされているのか。

〔病院事業管理者〕 総合、扇田、両病院の管理会議の中で協議しているほか、両病院で地域連携、入退院支援を行っている看護師、社会福祉士などの専門職員が外来機能のみになった場合の患者受入れ課題について協議、検討をしている。

〔問〕 「市在宅医療、介護連携推進協議会」の実務者会議ではどのような意見が出たのか。

〔病院事業管理者〕 扇田病院の方向性についての代表的な意見として、「患者さんにとつての適切な医療と介護の課題についてじっくりと議論を重ね結論を出してもらいたい」というのがあった。今後も医療、介護の現場のご意見を伺い、市民に不安のないような課題解決に努力する。

〔問〕 県医師会長の小玉弘之先生は、医療は誰のものなのか「住民の住民による住民のための医療が、究極の地域医療構想であるべき」と述べている。管理者の見解は。

〔病院事業管理者〕 地域にあった医療提供体制構築が大事であり、目指す方向性は同じである。

米価下落に効果的な対策を

〔問〕 コロナ過による米価下落に農家は大きなショックを受けている。農家の意欲を喚起できるような積極的な対応策を検討すべきである。

〔市長〕 農業経営の持続化を図るため、米依存からの脱却と「稼げる農業」の確立を推進する。来年度も低コスト化、労働時間軽減を目的にしたスマート農業機器の導入支援等を検討しており、米価下落に対応可能な強固な経営体制を目指す。

扇田病院の経営状況と将来の対処案について、 病院事業全体と市の福祉政策全般から問う

小棚木 政之 議員（令和会）
おだなぎ まさゆき



〔問〕 慢性期入院患者の実態と生活背景は。今回の最大の問題は社会的入院への対処では。

〔問〕 収支の中身に踏み込まずして経営及び将来計画案の議論は拙速感がある。経営の改善は見込めないのか。人件費が高額で、随意契約比率が高い。現況は破綻した夕張市立病院に酷似。他の公立病院では徹底したコスト削減で黒字化の例もある。

〔病院事業管理者〕 給与費、施設管理等の委託費比率が高くなっており見直しが急務。無床化提案は施設改修、将来財政負担、医師確保見通し、人口減少などを考慮したもので、病棟維持の提案に至らなかった。

〔問〕 無床診療所化以外の案は。職員による医療法人化（独立民営化）や、民間譲渡、独立行政法人化、介護医療院などは考えられないか。

〔病院事業管理者〕 一年半にわたって検討してきたが、建物が極度の劣化状態にあり、移転や総合病院との連携を視野に検討した案である。

〔病院事業管理者〕 療養病床の約半数は医療ではなく介護サービスでの対応が可能な方。病床を持たない場合、この先5年ほどの受入れが課題で、市や社会福祉法人との連携が必要。退院支援をしてもなお受入先が見つからない方には在院日数の弾力化なども考える。

〔問〕 医療、介護、福祉の連携を市全体の政策にどう反映させるか。身体のみならず生活環境や所得、家族関係などの背景もある。

〔市長〕 行政、医療、介護など多職種の連携構築に取り組んできたが、一層強化し、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。

〔問〕 市内の街路樹の管理は大きな改善が必要。剪定方法、根の張り出し、落ち葉、財産管理など、市民の協力も呼びかけ積極的な管理を。

〔市長〕 市では約三千百本を台帳管理。剪定や薬剤散布を含め包括的民間委託も検討。落ち葉は路面清掃車導入も視野に入れ、道路環境の維持向上に努める。

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

狭隘な橋の改修

佐藤 眞平 議員（令和会）
さとう しんぺい



旧市内の市道状況について

〔問〕 道幅が狭く、隅切りがなく、急坂道もあり、冬期は雪害の心配もある。消火活動は大丈夫か。

〔市長〕 日頃から消火訓練を行い、出動時に即応できるよう道路情報を把握し、また、地元消防団と連携を図っている。

〔問〕 相染沢中岱の市道に、互いに接する箇所が狭いので、車が通り抜けできるようにとの要望だが。

〔市長〕 現在は更地なので、所有者の御理解のもと、地元町内会と協議を進めたい。

野遊びSDGsの推進について

〔問〕 供用時期、一般キャンプとの兼ね合い、五色湖周辺のアクセス整備、地域との関わり、芽室町といなべ市との連携は。

〔市長〕 国の地方創生推進交付金を活用し、令和5年度内の開業に向け、一般キャンプと区別して、豊かな食や文化に触れながら「グランピング」の拠点整備を図る。三重県いなべ市と北海道芽室町と同様の事業を通じて連携を図っていく。

ボッチャ競技大会の推進について

〔問〕 今回のホストタウンを記念し、障害者、健常者にかかわらず、通年の競技大会開催の考えは。

〔市長〕 ボッチャに取り組む市民や団体は増加しており、来年1月に「第2回はちくんオープン」を開催予定。大会を通じ、共生社会のまちづくり意識の醸成を図っていく、東京オリパラのレガシーとして取り組んでいく。

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。
ここでは、12月定例会の審査の概要をお知らせします。

総務財政常任委員会

行政手続きにおける
押印・署名の廃止につ
いて

来年度からの押印・署名の原則廃止に向けて見直し作業を進めていることが総務課から報告された。見直し対象約2100件のうち、地方自治法で押印が義務付けられているものを除く、約1600件の押印・署名の手続を廃止する予定である。令和4年3月定例会に条例改正案が提出される予定である。



総務財政常任委員会の様子

現地調査

大館駅周辺整備事業について、12月2日に現地調査を行い、進捗状況や今後のスケジュール等を確認した。

また、桂城交番の移転予定地である、旧正札竹村立体駐車場跡地を視察し、状況を確認した。



現地調査の様子(桂城交番移転予定地)

厚生常任委員会

大館市総合福祉センターを調査



現地調査の様子(大館市総合福祉センター)

業・生活支援センター」も移転し利用されている。
さらに、日中の活動を支援する「地域活動支援センター」にはサロンを併設し、創作活動や機能訓練、料理作りなどの社会適応訓練を実施する。
委員からは「相談や活動の場が集約されて利便性が上がった」「もっと利用をPRしてほしい」など意見があった。



厚生常任委員会の様子

教育産業常任委員会

新型コロナウイルス感染症対応 経済対策について

コロナ禍を克服するための様々な取組を支援する事業継続力強化事業のメニューを拡充、新設したことが商工課から報告された。

来客型店舗等の感染症対策を支援する「事業者等安全安心環境整備事業」では、抗ウイルスコーティングの補助率を3分の2から5分の4に引き上げ、補助上限額も15万円から100万円に引上げて支援を拡充している。また、業務のため従業員等にPCR検査を受けさせた事業者への新規支援として「事業者向けPCR検査支援事業」により、1回の検査につき地域限定商品券1000円分を交付する。

成人式や年祝いなどイベント中止の影響を受けた美容店、写真店を支援する「着付・美容・撮影支援事業」では、記念撮影のための着付、メイク、ヘアセ



教育産業常任委員会の様子

ット、撮影等費用の3分の2を市が助成し、3分の1の額で各サービスを受けられる。コロナ禍により通常の成人式ができなかった令和2年度、3年度の新成人を支援するほか、卒業式等での利用も見据え、事業期間は令和4年3月31日までとしている。

建設水道常任委員会

包括的民間委託への 取組について

令和4年10月からの試行導入に向け、市内登録業者へのアンケート調査を行い、導入地区や業務範囲の絞り込みを進めていることなどが報告された。道路

大館の玄関口として、歴史まちづくりの観点からも重要な場所であるという意見が出された。市長からは、中世から近世まで人と物流の拠点であったことなどが紹介され、JＲ東日本と粘り強く交渉していくことなどが示された。



建設常任委員会の様子

修繕や舗装穴埋めなど、別々に発注されている業務を包括的かつ複数年の委託とすることで効率化を図る取組について、委員からは導入による費用面での効果、除雪の扱いなどについて意見や質問が出された。総括質疑においても取り上げられ、市長は「コストだけではなく地元建設業界の競争力向上に向けて丁寧に取り組む」と理解を求めた。

その他、東大館駅の老朽化により、JＲ東日本が規模縮小での建て替えを検討していることなどが報告された。委員からは、

私もひ・と・こ・と 第45回

あんどう
安藤

りん
鈴さん
(清水町)



●秋田犬をもっとPRしたい！だけど：

皆さんは秋田県の観光ポスターを見たことがありますか。観光名所に秋田犬が映り込んでいて、あのポスターです。私は数年前に見て「なんだ、この可愛いすぎるポスターは!?」と心を掴まれてしまいました。それがきっかけで秋田犬に引き寄せられ、2021年の春から地域おこし協力隊として移住してきました。

秋田犬発祥の地である大館市は秋田犬を「大館の顔」として観光誘客に活用しています。

最近ではSNS・YouTube等での情報発信、観光客のお出迎え、メディア出演など、引っ張りだこです。動物が与えるインパクトは非常に大きく、上野動物園のパンダや、オーストラリアのコアラのように、「癒し」を求める観光客を引き寄せるための最適な「観光資源」です。

しかし、食べ物や観光名所、温泉などと異なり、生き物が相手となると、様々な課題が出てきます。秋田犬とのふれあいを期待して来られる方も多いのですが、中には人との接触が苦手だったり、緊張したりする犬もいます。感情もしっかりあるため「嫌だ」と思ったら抵抗したり攻撃したりします。むやみにふれあおうとしてトラブルになる可能性もあります。事故が起きたとき、一番の被害者はハンドラーでも観光客でもなく秋田犬です。

このように、秋田犬人気の裏側には、ふれあい犬のストレスによる体調不良や飼育放棄など、悲しい現実があります。海外でも人気の秋田犬ですが、実は非常に繊細な性格で、決して簡単に飼えるような犬種ではありません。「かわいーい！もふもふしたい！」という一心で大館を訪れる観光客にも理解してもらいたいのですが、そこまで望むのは現実的に難しいことです。

大館市地域おこし協力隊として秋田犬の里で活動中。大阪出身の24歳。秋田県と秋田犬への愛が強すぎて4月に移住してきました。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

市議会の傍聴自粛のお願い

市議会では新型コロナウイルス感染予防として「3つの密」を避けるための対策を講じています。傍聴席も少なくするなど、制限していますので、当面の間、本会議の傍聴を自粛してくださいようお願いいたします。

なお、傍聴する場合はマスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

せき・発熱などで体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

編集後記

皆さん、コロナ禍で何か変化がありましたか。なければそれにしたことありませんが、今度は「オミクロン株」という変異株が確認されました。今後も目に見えない恐怖におののかわなければいけないのでしょうか。このような中ですが、皆さん、ぜひ議会を傍聴して下さい。反対・賛成の意見、それぞれ聴いてほしいと思います。席は密にならないよう少なくしておりますが、一階でも傍聴できるよう対応しておりますので、まずはのぞいてみて下さい。



(笹島 愛子 記)